

学園広報誌 OASIS

大学開学 **20** 周年記念特別号

Vol.06 Aug.2025

Osaka Aoyama
Stylish Information Square

OASIS

Catch the

Osaka Aoyama University 20th Anniversary

Future

INDEX

P01 / 02

ご挨拶 大学開学20周年によせて
- 理事長挨拶
- 学長挨拶
- 同窓会会長挨拶
- 同窓会学内幹事挨拶

P03 - 06

大学開学20周年記念特別企画
卒業生×在学生20人にききました

P07 / 08

大学開学20周年を記念して

P08

History of Osaka Aoyama University
大阪青山大学20年の歩み

P09

Topics
- 大学の取り組み
- 大阪青山大学の地域連携・SDGs
推進活動

P10

Topics
- 学科の取り組み

P11

Topics
- 共通教育部の取り組み
- 介護福祉別科の取り組み
- 大阪青山歴史文学博物館
- クラブ活動紹介

P12

青山幼稚園
- 園長挨拶
- English クラスのご紹介
- 開園60周年の取り組み
- 青山幼稚園沿革

P13

キャリアサポート
認証評価の受審について

P14

ご寄付のお願い
財務報告

P15

開学20周年記念ロゴについて
SNSのご案内
今後の発送について

大学開学20周年記念特別号

OASIS

Osaka Aoyama Stylish Information Square

ともに歩み、次なる飛躍へ

青櫻會

大阪青山大学・大阪青山大学短期大学部同窓会



大阪青山大学の学科別同窓会と大阪青山大学短期大学部同窓会「青山會」を統合し、2018年4月に大阪青山大学・大阪青山大学短期大学部同窓会「青櫻會(せいおうかい)」として発足しました。2023年には、同窓会として「会員相互の繋がり」をより強く結んでいくこと、また今後もより一層活動に注力していくことを目標とし、「青櫻會」活動の際にシンボルとなるロゴを制定しました。



同窓会会長

小笠原 睦

1975年 大阪青山短期大学
家政科 食物栄養専攻 卒業

開学20周年おめでとうございます

いつも本学同窓会の活動にご支援ご協力いただき、ありがとうございます。大学が開学した2005年は、宇宙飛行士野口聡一さんがスペースシャトルで宇宙へ行き、愛知万博が開催された年でありました。そして、現在2年生の学生のほとんどが、生まれた年でもあります。今年はまだ半年あまりしか経っていませんが、大阪・関西万博が開催されたり、令和の米騒動があったり。開学40年を迎える2045年は、どんなことがあるのでしょうか？今年生まれた赤ちゃんの何人が、大阪青山大学に通っているのでしょうか？90歳になった私が見届けることができるのでしょうか？大阪青山大学開学20周年おめでとうございます。



同窓会学内幹事

甲賀 健太

2009年 大阪青山大学
健康科学部 健康栄養学科 卒業

学生の皆さんを多方面から支えていきます

今年は大学開学20周年ということで、記念事業として7月10日開催の七夕交流会のキッチンカーで利用できる金券500円分を在学生の皆さんに配付しました。その他、同窓会ではホームカミングデーの補助金交付や新入生に入学記念品を進呈するなど様々な支援活動を行っています。引き続き同窓会活動へのご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。最後になりますが、今まで携わって来られた関係者の方々に敬意を表するとともに、私も20周年という記念の年に職員として関わることができたことに喜びを感じています。今後も微力ではありますが、大学を陰ながら支えられればと思っております。これからもよろしくお願いいたします。

ご挨拶

大学開学20周年によせて

建学の精神に則った、人間性豊かで品位ある専門的職業人の育成をモットーに歩み続けて20年、多くの方々の支えによって、節目のときを迎えることができました。食と栄養、保育・教育、看護。「人の手によってしか成し得ない人への支援」を礎としたこれらの分野に優れた人材を送り出し、誰もが住み良い社会の構築に貢献する、この先も続く長い道のりを見据え、皆さんとともに、更なる飛躍を目指して挑戦を続けてまいります。学園広報誌「OASIS」大学開学20周年記念特別号は、本学を支えてくださったすべての方への感謝の思いを込めて制作しました。本学と歩みを共にした日々を、懐かしく振り返っていただけましたら幸甚に存じます。

大阪青山大学 学長

篠原 厚



皆様のお力添えに感謝いたします
大阪青山大学は、本年、大学開学二十周年、幼稚園開園六十周年という大きな節目を迎えました。まずは、これまで本学を支えてくださいました卒業生の皆様、そして本学の発展に貢献してこられました先人そして現在の教職員の皆様に感謝いたします。新理事長による新体制スタートと時を同じくし、来るべき少子化の次のステージを見据えた新生大阪青山大学となる記念の年にしたく思っています。そのために取り組むべき教学改革は多くありますが、建学の精神を礎に、対人援助の専門性と人間性を育み、学び続けることができる力を養う「輝く未来へ繋がる教育」の具現化を目指します。皆さま方には、益々のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

学校法人大阪青山学園 理事長

宇野 保範



学園のさらなる発展を目指して
本年五月末に大阪青山学園の理事長に就任いたしました。これまで四十四年にわたり、本学園を職員時代から温かく導いてこられた前理事長の眞下利晴氏に、心からの感謝を申し上げます。微力ではありますが、学園の発展を目指し、全力を尽くす所存です。今年、大学開学二十周年、幼稚園開園六十周年の節目を迎えました。学園を築立った皆さまが在学、在園中に育まれた学びや絆は、今も確かに社会や地域に息づいていることと思います。これからの大阪青山学園も、在学生、卒業生、そのご家族、お取引先、地域の皆様などの想いを受け止めながら、教職員一同力を合わせ未来へと歩んでまいります。

ともに歩んだすべての人に、感謝の思いをこめて

20人に ききました!

記憶から紐解く大阪青山大学の20年をテーマに
2005年から2025年までの各年度に入学した
卒業生・在学生の皆さん取材
しました

2017年以降、大学祭は当日のみの
開催となりました。前夜祭のあった頃
は、中庭などで学生が出し物の練習を
する光景が風物詩でした。

2007



前田 淳
健康科学部 健康栄養学科
2010年度卒業

Q. 学生生活の思い出 A. サークル活動
1年次から軽音楽部に所属し、3年目からは部長になり、気が付くと大学
でも一番人数の多いサークルになっていました。人が多すぎてまとめる
のが大変だったり、みんなと飲むお酒が楽しくて、次の日1限目からの
授業に出るのがつらかったり...、いろんなことがありましたが、この時に
培った社交性や、初対面の人との接し方など、大学時代の経験が今の私
の礎になっています。卒業後10年以上経った今も当時の仲間と集まっ
て学生時代の話を懐かしく話しています。大阪青山大学に通ったことで、
素敵な学生生活を送ることができたと思っています。

軽音楽部は現在、
約20名の学生が所属して
大学祭をはじめとする
各種イベントのステージに
立って活動しています。

Q. 学生生活の思い出 A. 大学祭
私たちの学生時代は大学祭の前日に前夜祭があり、
クラス一丸となって夜遅くまで出し物(ダンス)の練習をしていました。当時は、前夜
祭でのダンス発表が特に盛り上がり、当日出すお店の準備よりも前夜祭の準備に力を
注いでいたといっても過言ではありません。上手くいかないこともありましたが、
それがあったからこそ友達との絆も深まったと思います。



キャリアアップしませんか!

2024年度から子ども教育学部では、特別支援
学校教諭免許状を取得できる課程をスタート
させています。特別支援学校教諭の免許取得
は、基礎免許として、小学校または幼稚園免
許が必須となります。卒業生の皆様も、科目
等履修生として必修科目を修め、資格取得
することができます。
幼稚園教諭免許状や小学校教諭免許状の免
許取得、または一種免許状への申請が可能です。
本学は、卒業生の皆様のキャリアアップを
サポートします。詳細につきましては、お気軽
にお問い合わせください。
大阪青山大学 教務部 TEL. 072-723-9437

20年を振り返って

戸松：先生をしていると、そうしたつながりというか、縁のようなものを感じるこ
とがよくあります。この20年の間に、幼稚園で教えていた頃の子どもが大学生になっ
てここに入学してきてくれたり、ここで教えた学生のお子さんが入学してきてくれたり。
「戸松先生のいるところで学びたかったから」などと言われると、教師冥利に尽きる
思いがします。皆さんの20年後にも、同じようなことがあるかも知れないですね。

教育と福祉の連携

小西：私自身、幼稚園の担任の先生が大好きで、大人になったら先生と一緒に働きたい!
と思ったことが原点です。これまでに障がいを持つ子どもと関わる機会が多く、保育
と福祉のコース選択で迷いましたが、幼稚園で、子どもたちみんなの間に支援の輪が
広がるような関係性・環境づくりを行いたいと思い、保育コースを選びました。
戸松：将来のことをとてもよく考えていますね! 困り事に手を差し伸べるのもとても
大事ですが、関わるすべての子どもたちの日常に、「楽しい」「嬉しい」という幸せな
時間をたくさん提供してあげられる先生になってほしいです。

2005

大阪青山大学開学



本田 郁恵
健康科学部 健康栄養学科
2008年度卒業

Q. 忘れられない授業 A. 「レストラン実習(調理学実習II)」
実際にお客様に販売をするということでもとても緊張したことを覚え
ています。手順や使用器具について先生からの質問に答えられない
など事前準備が不十分であれば営業中止となるため、グループで集
まってたくさんミーティングをしました。総リーダーを務めた際には
献立作成、原価計算、作業工程を何度も確認し、プレッシャーも感じ
ましたがとても良い経験になりました。

2006



島田 良子
健康科学部 健康栄養学科
2009年度卒業

Q. 学生生活の思い出 A. 卒業研究
片山先生にご指導いただき、研究者への道へ導いて
いただきました。卒業研究では、大学に泊まって実験
をしたこともあり。偶然にも花火大会と重
なった夜には、大学から花火がきれいに見えました。

2008

健康こども学科開設



河内 結
健康科学部 健康こども学科
2011年度卒業

子ども教育学部 先生×1・2・3年次生 フリートーク

子ども教育学部では、学部のコンセプトである「教育と福祉の連携・接続・結合」を深化させ、
10年先、20年先も子どもの健やかな未来を支え続けることのできる保育者・教育者の育成を目指しています。
大学開学20周年の節目に、過去・現在・未来に寄せるそれぞれの思いを語ってもらいました!

20年後の自分

儀：20年後の自分の姿なんて想像もできないです(笑) 戸松：学生の皆さんにとったら20年先はイメージしにくいかも知れませんが、まづ
は卒業後にどうありたいか、ということだったらいかがでしょうか? 皆さん、入学当初に抱いていた思いや目標は今も変わっていませんか?
一同：変わっていません。儀：私は、自閉症の方の書いた本がきっかけで支援教育に興味を持ちました。将来も、漠然とですがそういった
分野に関わりたいと考えています。安信：私は入学時から小学校の先生を目指しています。先生をしている親戚が、教子からの贈り物や
手紙を大切にしているのを見て、たくさんの思い出や人とのつながりに溢れた素敵な仕事だなと思ったのがきっかけです。



3年次 小西 和純さん 1年次 儀 希乃未さん
2年次 安信 希美さん 学部長 戸松 玲子先生

20 years from now

儀さん

障がいのある子どもと関わり、その
子にとって安心できる先生になり
たいです。そして何より、健康に
過ごしていきたい!

安信さん

小学校の先生として働いていると
思います。特別支援教育についても
経験を積み、より専門的な関わり方
を模索しているかも知れません。

小西さん

幼稚園で、福祉の視点を持って保育
に携わり、卒園後につながる支援の
できる先生になりたいです。

Q. 学生時代の思い出 A. ピアノの練習

初めてのピアノで不安が多くありましたがどの先生も丁寧に優しく教えてくだ
さり、安心しました。個別で練習できる部屋をよく使っていました。一人暮らし
で家にピアノがなかったのでもとても助かりました。気さくな先生方が多く、
お菓子を食べながら雑談で和んだり、困った時には相談に乗ってくださったり
して助けていただきました。

子ども教育学部では、現在も
学生のレベルに合わせたきめ細かな
ピアノの指導を行っています。
学科の「定期演奏会」では、
ピアノ初心者で入学した学生が
成果を披露する場なども
設けています。

左のランキングにもあるように
「箕面の滝」は今でも学生が一度は
訪れる場所の一つです。学生同士の
親睦イベントなどの行き先にも
よく選ばれています。



2013



馬淵 登志貴
健康科学部 健康栄養学科
2016年度卒業

Q. 学生生活の思い出 A. 夜の箕面大滝 など
大学祭の前日に友達の家泊まり、テンションがあがって夜中
に箕面の滝を見に行ったのはいい思い出です。授業・実習では、
調理実習室の掃除をしている最中に過って「ごとく」を落として
しまい、半分に割りました。先生の記憶に残ったようで、在学
中も卒業後もずっと言われ続けています(笑)



畑 壮祐
健康科学部 健康栄養学科
2013年度卒業



Q. 忘れられないクラスメイト A. 三鬼 雄真くん

国家試験のために、いつも放課後に友人と残って勉強していました!自分たちだけ
の語呂合わせを作って覚えたり、みんなで問題を出し合ったりしていました。
同期の三鬼くんは卒業後10年以上経っても毎月遊ぶ心の友、いや大親友になり
ました。彼と遊ぶ時はいつまでもあの時のままですね!

2010



2009



山口 未稀
健康科学部 健康こども学科
2012年度卒業

Q. 忘れられない先生 A. 戸松 玲子先生

4年間あたたかく、優しく、時に厳しくご指導いただきました!!
今の自分があるのは先生のおかげです!とても感謝して
います。4年次の夏の幼稚園実習で戸松先生に勧められた園
に行きました。実習中はピアノや日誌など大変なことでもたく
さんありましたが、そこでもまた尊敬できる先生に出会い、
保育の楽しさを感じ、ご縁があってそのまま就職して今年で
13年目となります。素敵なお仕事に就くことができ
しあわせです。

健康栄養学科では、
今年4月から、管理栄養士の
国家試験対策に特化した
「国試対策室」を立ち上げ、専任
スタッフが常駐して学生の
サポートに当たっています。



2014



黒田 達生
健康科学部 子ども教育学科
2017年度卒業



2014年、翌年の看護学科開設に向けて、
5号館の建設工事が始まりました。
5号館の建っている場所にはそれまで、
テニスコートがありました。

RANKING

大阪青山の学生が
一度は行く場所と言え?

- ① ミスタードーナツ 1号店
- ② 箕面の滝
- ③ 坂の下ファミリーマート



「子育て支援室」は2011年度から
地域への開放をスタートし、
学生にとっての学びと、地域
貢献・地域交流を両立させる
貴重な場として長年にわたり活用され
てきました。これまでの利用者延べ
人数は13,000人を数え、
現在も多くの親子で賑わっています。



菅 真里奈
健康科学部 健康こども学科
2015年度卒業



Q. 忘れられない授業 A. 地域子育て支援実習
学内施設「子育て支援室」で継続的に色々な親子と
関わりながら成長を間近で見られたことは得難い
経験でした。学外実習とはまた違う子どもとの触れ
合いができ、印象的な授業でした。



2012

2011



山崎 圭子
健康科学部 健康栄養学科
2014年度卒業

Q. 学生時代の思い出 A. 国試に向けた勉強

平日、休日に関係なく先生の研究室や自習室にこもり、
友人と必死になって国試の勉強をしていました。疑問
点や不明点を教え合い、時には問題を出し合って切磋
琢磨しながら国試に向き
合っていたのがとても懐
かしいです。先生方や助手
の皆さまにはたくさん助
けていただき心から感謝
しています。





健康栄養学科 1期生 × 20期生 対談企画

大阪青山大学は2005年、健康科学部 健康栄養学科の1学部1学科体制でスタートしました。今年二十歳を迎える健康栄養学科のこれまでとこれからを、1期生と20期生のお二人に語ってもらいました！

Catch the Future

大阪青山大学はこれからも、学生一人ひとりの夢の実現を全力で応援します

2025

大学開学20周年

後輩へのメッセージ

大学生活は、友人にも恵まれ、遊び、勉強、サークル、アルバイト、学校行事すべて思い切り楽しみ、全力で取り組みました。後輩の皆さんにもこの4年間でしかできない経験や素敵な思い出などがえのない財産をたくさん得て社会に出てほしいと思います。そのためには受け身でいるのではなく自ら考えて行動し、充実した大学生活を送ってください。

変わったこと・変わらないこと

本田：目に見える大きな変化はやはり設備面ですね。5号館が建ち、本館にエレベーターが設置され、スクールバスも随分と便利になりました。私たちの頃はバスは坂の下で停まっていたので、同級生に話すとよく驚かれます。西村：この20年で色々充実してきたんですね。あとではできれば運動する場所がほしいです。本田：それは逆に減ってきてますね...

西村：のびのびと体を動かせる場所がもう少しあればいいな。本田：少しのスペースでも見つけてはボール遊びに興ずる学生の姿は、変わらない部分かも知れませんね。変わらないことと言えば今も昔も先生や職員の方々と学生との距離は近いように感じます。先生の研究室や各部署どこへ行ってもあたたかく迎えてもらった記憶があります。西村：先生と野球の話で盛り上がった(笑)本田：距離の近さ、

変えたくないこと・変えていきたいこと

きめ細かなサポートは小規模校のメリットだと思うので、これからも変わらないでほしいです。西村：そうですね。クラスもすごく仲が良いです。さらに、学科や学年を超えた関わりももっと持ちたいと思います。そこはまだ足りないところだと思うので、交流会のようなことをできないかと考えています。国試対策のノウハウなど、先輩から後輩へと繋いで行けるものもたくさんあると思うので。本田：貴重な意見です。私も、今年新たな形でスタートした「国試対策室」のスタッフとして、そういった学生さんの声なども取り入れ、より良いサポートのあり方を検討して行きたいと思っています。西村：先々の目標はたくさんありますが、まずは管理栄養士の資格取得に向けて、クラスメイトと励まし合い、高め合いながら、頑張っていきたいです。

1期生 / 本田 郁恵

20期生 / 西村 陸駆

2024



西村 陸駆
健康科学部 健康栄養学科
2 年次

Q. 学生生活の思い出 A. 大学祭

去年の大学祭では、豚汁の屋台を出しました。お味噌を長野県や鹿児島県から取り寄せ、出汁もと、具材も全部自分たちで刻んだこだわりの一品で、クラスメイトや担任の先生とメニューや調理・販売方法、お店のデザインなどを協力して考えて運営したことが楽しく、大学生活の良い思い出になりました。今年何を出すかは、現在思案中です。



2025年の大学祭は、11月9日(日)に開催します。皆様、ぜひお越しください！



武内 優月
健康科学部 看護学科
4 年次

Q. 学生生活の思い出 A. 実習に向けた勉強

3年次の前期は、後期の領域別実習に向けて看護過程の授業が続き、提出物の多さに追われる毎日でした。そんな中でも、放課後にみんなで集まって勉強したり、友達の家にお世話になって“宿舎”のように勉強したりしたことは、ただ大変だっただけでなく、楽しさや落ち着ける時間があって忘れられない思い出です。苦労を分かち合える仲間がいたからこそ、前向きに乗り越えられたと思います。あの時必死に頑張ったことも、仲間と笑い合った時間も、全部が私の支えになっていると思います。



2023



小西 和穂
子ども教育学部 子ども教育学科
3 年次

Q. 学生生活の思い出 A. サークル活動

音楽アンサンブルサークルに所属しています。このサークルを通して友達との仲が深まり、久しぶりに楽器に触れることもできました。私にとって息抜きの時間で、一つの居場所になっています。一人ではなく、みんなで音をつなげて演奏できることがとても楽しく、このサークルの良さを感じています。



RANKING

学生時代を振り返って一番印象に残っていることは？

- ①授業・実習 / 16 人
- ② 国試対策 / 5 人
- ② サークル活動 / 5 人

今回の取材で最も回答の多かった項目(複数回答可)は「授業・実習」の16でした。次に「国試対策」と「サークル活動」が同数で、さらに大学祭、オープンキャンパススタッフの活動が続きました。

2021



泉 明日美
健康科学部 子ども教育学科
2024 年度卒業

Q. 忘れられない授業 A. 保育内容総論

授業の中で、模擬保育に取り組みました。指導計画を立てながら、どんな内容の保育にするか悩みに悩み、準備段階から全て自分で手がけました。実際にクラスメイトに子ども役をやってもらい、先生として模擬保育をしたことが、とっても印象に残っています！



看護学科

仕事場レポート

2015年に開設された看護学科は現在6期生までが卒業し、看護師・保健師として各地の病院で活躍しています。看護師6年目として勤務する1期生の川邊 裕花さんに、仕事のやりがいや目標をききました！

勤務先 DATA

兵庫医科大学病院 兵庫県西宮市

特定機能病院、災害拠点病院、総合周産期母子医療センター、がんゲノム医療連携病院 など

配属先 循環器内科、脳神経外科、放射線科

担当業務 事故防止チーム、RRS(院内迅速対応システム)

混合病棟のため、様々な疾患の患者さんが入院されており業務は多岐にわたります。特に、検査・治療・手術などを受けられる方が多く、患者さんやご家族にとって安心して入院生活を過ごしていただけるように、オリエンテーションの時間を大切にしています。



看護師としてやりがいを感じるのはどんなときですか？

日々の看護やリハビリを通して患者さんが入院前の生活の一つでも近づき回復される姿を見ると、看護師としてのやりがいを感じます。

これからの目標を教えてください

私は当院で出逢った看護師に憧れて看護師になりたいという夢を持ちました。現在、兵庫医科大学病院で看護師として働いていることをとても誇りに感じています。今後は、私自身が患者さんやご家族の“力”になれるよう努めていきたいです。

ありがとうございました！
大阪青山大学はこれからも、すべての卒業生の皆様のご活躍を応援しています！

2015

看護学科開設



2026年秋には新病院棟がオープン



現在、臨床現場で使用している聴診器は学生時代から実習で使っていたものです！



川邊 裕花
健康科学部 看護学科
2018 年度卒業

Q. 忘れられない授業 A. 母性看護学演習

母性看護学の授業で行った実技演習が印象に残っています。赤ちゃんのデモ人形を用いて沐浴の練習をしましたが、初めての経験で手が震えたのを今でも覚えています。授業が楽しくて、時間が過ぎるのが早く感じました。



2016



小寺 実里
健康科学部 健康栄養学科
2019 年度卒業

Q. 学生生活の思い出 A. 国試対策

ゼミ活動を通じて出会えた同期や後輩は、大学で得た大切な財産です。試験のために朝早くから夜遅くまで、みんなで学校に残って勉強したことも、その時はしんどかったけれど、今では大切な思い出です！



2017



濱田 綾華
健康科学部 看護学科
2020 年度卒業

Q. 学生生活の思い出 A. サークル活動

ビッグバンドサークルに所属していました。入学式やバンドフェス、箕面まつり、大学祭、定期演奏会など、多くのイベントで演奏したことや、新歓などの交流、日々の練習はすべて思い出深く、充実していました。先輩としっかり演奏できる最後の機会であった定期演奏会では、演奏中に先輩の涙を見て、自分も思わず泣いてしまったことが強く記憶に残っています。4年目はコロナ禍で十分な練習ができなかったことが、唯一の心残りです。



2018



北脇 圭悟
健康科学部 子ども教育学科
2021 年度卒業

Q. 学生生活の思い出 A. オープンキャンパススタッフとしての活動

在学中、オープンキャンパススタッフ「A.R.S.(Aoyama Reception Staff)」として活動しており、高校生や付き添いの方に向けて、話をしたりキャンパス内を案内したりしていました。実際に対応した高校生が入学し、「梨奈さんのおかげで入学することを決めました」と伝えてくれたことは、今でも思い出に残っています。



平田 梨奈
健康科学部 看護学科
2022 年度卒業



History of Osaka Aoyama University

1967 学校法人大阪青山学園創立 / 大阪青山女子短期大学開学

大阪青山大学 20 年の歩み



今後も多くの企画を予定していますので
大学開学 20 周年記念サイトをぜひご覧ください

大学開学 20 周年を記念して

2025 年度は様々な記念行事を実施いたします

2005

大阪青山大学開学

初代学長に塩川 和子が就任
健康科学部 健康栄養学科 開設
4 号館竣工
大阪府箕面市と連携協定締結



2008

健康科学部に健康こども学科 (現 子ども教育学部 子ども教育学科) 開設
兵庫県川西市と連携協定締結
大阪府池田市と連携協定締結



2015

健康科学部に看護学科 (現 看護学部 看護学科) 開設
第 2 代学長に久田 敏彦が就任
5 号館竣工



2017

学園創立 50 周年



2022

学園創立 55 周年
第 3 代学長に篠原 厚が就任
健康科学部 子ども教育学科を子ども教育学部 子ども教育学科に改組
第 1 回お城桜まつりを開催



2023

介護福祉別科開設



2024

健康科学部 看護学科を看護学部 看護学科に改組
大阪府豊中市と連携協定締結



2025

大阪青山大学
開学 20 周年



記念植樹

記念行事の一環として、2 月に箕面キャンパスで、3 月に北摂キャンパスで桜の植樹を行いました。植えられたのは「桐ヶ谷」という品種で、京都の庭師 十六代目 佐野藤右衛門氏によって種子から育てられた貴重な一株です。本学の名称にちなんで『アオヤマサクラ』と名付けられました。北摂キャンパスでの植樹は本学主催の「大阪青山大学 お城桜まつり」のなかで行われ、越田謙治郎 川西市長や地域の諸団体の代表も参加されました。



公開講座

毎年、前期・後期の 2 回にわたり実施し、多くの方にご参加いただいています本学の公開講座を、本年は「大学開学 20 周年記念特別企画」として実施します。本学教員による講演に加え、落語家の三代目 桂 花園治氏をお迎えしての特別講演も開催します。お子さまからシニアまで幅広い方々にお楽しみいただける多彩な全 10 講座をご用意しています。ぜひお気軽にお申し込みください。



三代目 桂 花園治 氏



詳しくはウェブで

令和 7 年度前期 公開講座 講座一覧

7.22 (火)	「EXPO 2025 大阪・関西万博」に参加しました
8.8 (金)	料理したい子集まれ! ~自分で作るお昼ごはん~
8.19 (火)	大切な人と「人生会議」をしてみませんか
8.28 (木)	放射化学最前線「アルファ線による新しいがん治療法」
9.3 (水)	心理学入門「非言語コミュニケーション」
9.6 (土)	子ども運動教室 親子で「元気っず体操」
9.10 (水)	音楽講座「文部省唱歌の魅力を探る」
9.12 (金)	大阪青山歴史文学博物館の見学と展示解説
9.30 (火)	転ばぬ先の知恵とワザ!
9.19 (金)	特別講演「落語表現を教育に生かす」

※募集定員に達した講座はその時点で申込受付を終了します



在学生支援

「七夕交流会」で全学生に金券を配布

2023 年度より毎年 7 月に開催している全学イベント「七夕交流会」では、学外から招致するキッチンカーで使える金券を学生全員に配布しました。金券は、本学同窓会「青櫻會」より支援されました。



大学開学 20 周年記念式典

2025 年 8 月 26 日 (火) に帝国ホテル大阪にて、大学開学 20 周年記念式典を開催します。

大学祭 ————— 11 月 9 日 (日) 10:00 ~ 16:00

20 周年を記念して、健康栄養学科ホームカミングデーを初開催

2025 年度の大学祭は、11 月 9 日 (日) に開催します。健康科学部 健康栄養学科ではこの日に合わせ、大学開学、および学科開設 20 周年を記念して、ホームカミングデーを開催します。健康栄養学科が歩んだ 20 年を振り返るとともに、母校で過ごした日々を懐かしみながら卒業生と現・旧教職員が旧交を温め、新たな出会いを創出する機会となることを願っています。年代ごとやゼミごとに親睦を深める歓談の時間や、クイズ・ゲームなどの企画を予定しています。卒業生の皆さん、ぜひお問い合わせの上で参加ください!

健康栄養学科ホームカミングデー | 11.9 10:30 ~ 12:30

※詳しくは、本学オフィシャルサイトをご確認ください



健康科学部 健康栄養学科

大阪・関西万博で未来の食品「ベジだし」を紹介しました



常駐し、来場された方々に「ベジだし」の紹介、研究・開発に取り組んできた経緯や、海洋資源の保全に貢献するプロジェクトの意義などについての説明を行いました。会場となったフューチャーライフヴィレッジは連日多くの人で賑わい、本学のブースには三日間で延べ4,000人近い方がご来場くださいました。マエカワテイスト株式会社のスタッフによるだしの試飲・サンプル配布も行われ、たくさんの方に未来の食品「ベジだし」を体験していただくことができました。 ※9月には、13・14・15日の3日間、「大阪ウィーク」の箕面市ブースに参加し、学生がレシピ開発したお菓子の販売を行います



6月13日～15日の三日間、健康栄養学科の渡邊ゼミが、大阪・関西万博に参加しました。マエカワテイスト株式会社（兵庫県姫路市）と共同で研究・開発するプラントベースフード（全てが植物由来原料の食品）のうどんだしを紹介する内容で、共創チャレンジとして「TEAM EXPO パビリオン」に参加し、ブース展示を行いました。ブースには渡邊教授、ゼミ生を中心とする学生、ゼミの卒業生が交代で

レストラン AOYAMA 1年次から3年次まで、充実の調理実習を取り入れたカリキュラムで、料理のできる管理栄養士の育成に努めています。2年次の学生が取り組むレストランでの実習では、グループごとに担当を決め、献立作成、コスト管理、下準備と当日の時間配分や人員の連携など多岐にわたるスキルを磨いています。昼休みに500円で販売されるランチは好評で、毎回完売しています。多くの学生・教職員が利用しており、卒業生の皆様のご利用も可能です。営業日やメニューの詳細は大学までお問い合わせください → ☎ 072-722-4160

子ども教育学部 子ども教育学科

子育て支援室の活動について 2011年に設置された「大阪青山大学子育て支援室」は、これまで約1万3000名（延べ人数）もの皆様にご利用いただいております。また、子ども教育学部の授業科目である「地域子育て支援実習」の実習場所でもあり、本学独自の教育・研究を通じた地域貢献を行うことのできる特長的な施設となっています。本学サイトだけでなく、地域の様々な媒体や口伝えによる周知により、利用ニーズが高まり、開室日の利用定員を満たすほどの人気を博しています。今後も、地域の皆様の子育て支援と学生教育に貢献するべく、その持てる機能を最大限に活用してまいります。



幼児教育の魅力とキャリア形成に関するシンポジウムの開催 文部科学省の委託事業「幼児教育の『職』の魅力向上と人材確保の好循環を生み出すモデル創出事業」に、2年連続採択されました。様々な事業を展開した中の一つとして、2024年11月10日に、幼児教育者・保育者を目指す在学生や中・高生を対象とした「幼児教育の魅力とキャリア形成に関するシンポジウム」を開催しました。現役の幼稚園教諭として活躍する本学卒業生4名を招き、幼稚園教諭という職の素晴らしさとキャリア形成についてお話しいただきました。また、当日は文部科学省の方も来学され、グループディスカッションも活発に行われるなど、幼児教育の現場を目指す者にとり、大変有意義な時間となりました。なお、このシンポジウムを含めた本事業の成果は文部科学省のサイトにも掲載されています。



子ども教育学部 第3回定期演奏会の開催 2024年12月20日に「第3回定期演奏会」（後援：箕面市・箕面市教育委員会 / (公財) 箕面市メイプル文化財団）を箕面市立メイプルホール大ホールにて開催し、学生有志と教員有志によるピアノ独奏・連弾・独唱・合唱・器楽アンサンブルなどを、楽曲の解説を交えながら披露致しました。当日は、多くのお客様にご来場いただき、舞台上で繰り広げられた熱演に対し、惜しみない拍手が送られました。また、舞台上には、学生が授業で製作したランプシェードが置かれ、演奏に彩りを添えていました。本演奏会は、学生の学修成果発表だけでなく、子ども教育学部独自の地域貢献活動の場としても位置付けられており、今年度も12月20日（土）に開催を予定しております。皆様楽しんでいただけるようなプログラムとなるよう準備を進めてまいりますので、卒業生の皆様のご来場をお待ち申し上げます。

看護学部 看護学科

シミュレーション教育の推進 シミュレーション教育では、学修者主体の能動的学修が重要であると考え、「深く考えて行動する」学生の育成に向けて、学生の実践能力（知識・行動・態度）を確実に習得できるようハイブリットシミュレーターとフィジカルアセスメントモデルのポテンシャルを活かし、より臨現場に近い状況の中でリアルな学修を行っています。シミュレーション教育だからこそ、実践と学生間でのディスカッションという体験型学修を通して「実習につながる学修」「学生ができないことを明らかにできる」「アセスメント能力を育む」ことができると考え、『“わかる”から“できる”』への転換を目指し、講義と演習が一体化した取り組みをしています。



介護福祉別科との交流 一多職種連携を見据えて 看護学科の新入生は、必修科目「大阪青山ゼミナール」の授業の一環として北摂キャンパスを訪れます。学生らは、大阪青山歴史文学博物館での文化財の見学を通して日本の伝統文化を学び、介護福祉別科の留学生との交流を通して異文化について学びます。また、介護福祉別科の教員の指導のもと、床に座った人を椅子に座らせる介助などを実践する介護実習も体験し、将来、看護師・保健師として社会に出た際に必要となる多職種連携や異文化理解に寄与する経験を、日々の学びの中で積み重ねています。



大阪青山大学は、二〇二四年四月に看護学部を開設し、三学部三学科体制で新たなスタートを切りました。

3学部体制が始動しています



大学 TOPICS

連携4市との過去・現在の活動事例

大阪府池田市 since 2008

「酒粕を活用したレシピ」の開発

健康栄養学科の学生が、全国的にも有名な日本酒「呉春」の酒蔵が池田市にあることにちなみ、酒粕を使ったレシピ作りに取り組みました。肉・魚料理から、サラダ、デザートまで、バラエティ豊かなレシピを提案しました。



きのこ酒粕の豆乳スープ



酒粕ほっこりグラタン



酒粕シャーベット

「いけだ健康フェスタ」で健康増進体操をレクチャー



子ども教育学部の村田教授が「いけだ健康フェスタ」に講師として参加し、ジャンケンやテニスボールを取り入れた、高齢でも家庭で気軽に取り組める健康増進体操をレクチャーしました。

大阪府豊中市 since 2024

こどもまんなか こども家庭庁

学生レポーターとして活躍

子ども教育学部の学生が、豊中市とこども家庭庁の共催で実施された「こどもまんなかアクションリレーシンポジウム」に参加し、学生レポーターを務めました。活動を通し、皆で子どもを育てる社会の在り方について、考察を深めました。

学生考案のレシピがオンデマンド配信中

健康栄養学科の学生が、豊中市中央公民館、大阪ガスネットワーク（株）との連携のもと、親子で手軽に家庭で作れる料理をテーマにレシピを考案し、料理動画を作成。豊中市中央公民館のオンデマンド講座として配信されています。



地域連携・SDGs 推進センター TOPICS

地域とともに歩み、ともに成長し続ける大学へ

教育資産を地域の方々に還元する各種講座を展開

本学の専門分野を生かした講座や体験型イベントを多数実施しています。

- **公開講座**：前期・後期にそれぞれ、毎回多彩な分野の約10講座で展開する公開講座は、リピーターも多い人気のプログラムです。
- **親子クッキング**：月に1回、健康栄養学科の学生と教員が実施する小さなお子様と保護者を対象としたお手軽クッキング教室です。
- **公開シンポジウム**：地域の皆様に、本学の現状と展望、教育・研究に関する成果の一端を紹介するため、2022年度より毎年開催しています。2025年度は、10月25日（土）、池田市民文化会館 コンベンションルームにて実施予定です。※詳細は後日、本学オフィシャルサイトに掲載します

TOPICS

ともに歩んだ軌跡と、次なる飛躍への新たな繋がり

大阪府箕面市 since 2005

「箕面シニア塾」で豊かな生活を提案

健康栄養学科の高田講師が、60歳以上の受講生を対象に実施される生涯学習プログラム「箕面シニア塾 文化・健康コース」で『シニアのための栄養講座』と題した講座を担当。栄養バランス、水分ケア、サプリメントなど多彩な切り口の講義で、健康につながる食生活の提案を行っています。



学生によるボランティア活動

女子ソフトボール部による学生消防隊「MATOY」の活動をはじめ、運動部員を中心に本学の学生が様々な取り組みを行っています。



女子ソフトボール部

市内初の学生消防隊として、年始の消防出初式でのデモンストレーション、防災イベントの運営補助など幅広い活動で地域の安全に貢献しています。市内の小・中・高生へのソフトボール指導にも取り組んでいます。



女子ハンドボール部

2024年に発足し、地域とともに成長するチームとなるべく、活動の場を広げています。今年5月には、箕面青年会議所の主催する「わんぱく相撲箕面場所」にボランティアとして参加し、出場した100名を超える子どもたちと交流しました。

兵庫県川西市 since 2008

大阪青山歴史文学博物館での見学会実施

多くの人に、文化財に触れる機会を持ってもらおうと、地元住民や近隣の学校を対象とした展示解説や見学会を実施しています。



大和自治会の見学会



市立清和台中学校の見学会

「吾熱咖喱」の開発

川西市の特産品であるイチジクの活用とPRを目的に、健康栄養学科が開発した「吾熱カレー」。「五つ星ひょうご選定商品」にも認定され、長きにわたり親しまれてきました。※現在は販売終了



地域参加型のイベントを開催し、気軽に足を運べる大学に

2022年から北摂キャンパスで開催している「大阪青山大学 お城桜まつり」は、毎年3,000～4,000人の来場者を集める、地域の人気イベントとなっています。



近隣の団体による出店・ステージ出演も数多く、地域全体で盛り上げるイベントとして今後も充実を図って行きます。箕面キャンパスでは11月9日（日）に大学祭を開催します。皆様のご来場をお待ちしています。

園長挨拶



青山幼稚園長
中村 祐子

2025年4月1日より園長を務めることになりました中村祐子です。
青山幼稚園が創立60周年という節目の年に、この大切な園の一員として歩み始められることをとても光栄に思っています。
「健やかに」「体いきいき」「心のびのび」の教育方針のもと、子どもたちが毎日のびのびと、そして安心して過ごせる園でありたいと思っています。
これからも、子どもたちの笑顔と成長を真ん中に、保護者の皆さまや地域の方々と共に通わせながら、温かな園づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

青山幼稚園

青山幼稚園は今年、開園60周年を迎えました



開園60周年を記念して撮影した航空写真：2024年11月撮影



園庭に新たに登場した築山



夏服



冬服

60th Anniversary 開園60周年の取り組み

制服リニューアル

60周年事業の一つとして2024年度に制服をリニューアルしました。制服だけでなく、体操服・通園カバン、長袖スモック、靴下も新しくなりました。

新遊具「築山」

2025年2月、運動場に新たな遊具を設置しました。緑の山がとてとてもすてきな遊具です。子どもたちにも人気の遊具になりました。これからも、大切に使っていきます。

English Class

English クラスのご紹介

"English クラス"で楽しく英語に親しもう！

青山幼稚園のEnglish クラスは外国人教員と日本人教員が担任としてクラスに入り、英語環境の中で遊びや活動を通して自然に英語を身につける保育を行っています。歌や絵本、制作などを楽しみながら、子どもたちは「生きた英語」にふれ、豊かな感性と国際感覚を育んでいます。一人ひとりの個性を大切にしながら、安心してのびのびと過ごせる環境を整えています。



青山幼稚園沿革

- 1965（昭和40）年4月
千里ニュータウン青山台住区の造成時に
住区内の幼稚園として開園
園長…塩川利貞
主事…上原弘毅
園児12名からスタートする
- 1966（昭和41）年9月
給食開始（1食55円）
- 1973（昭和48）年5月
専任講師による体育指導スタート
- 1979（昭和54）年5月
「リズム室」完成
- 1994（平成6）年9月
預かり保育開始
- 2007（平成19）3月
東園舎「年長館」新設
- 2007（平成19）年4月
第二代園長に塩川和子が就任
- 2010（平成22）年5月
未就園児親子教室「青葉の会」（2歳児クラス
スタート
- 2013（平成25）年4月
第三代園長に南橋正博が就任
- 2017（平成29）年4月
第四代園長に中尾かつ江が就任
- 2018（平成30）年5月
保育時間内に英語教育導入
- 2019（平成31）年3月
南園舎新設
- 2021（令和3）年7月
満3歳児「つばみクラス」スタート
- 2024（令和6）年4月
60周年記念事業開始
制服のリニューアル
イングリッシュクラス「ちゅうりつぷる」
スタート
60周年運動会風船飛ばしとくす玉割り
新遊具「築山」設置
- 2025（令和7）年4月
第五代園長に中村祐子が就任

TOPICS

充実の学びを支えるそれぞれの取り組みと成果

共通教育部

大学の学びを支えるための基礎的な学び、そして将来を豊かに拓いていく教養の学びをコーディネート

学部横断型の組織として、学部の教育をバックアップする形で、「入学前教育」を含めた基礎教育、教養教育などを推進しています。まずは入学前の取り組みとして、入試合格者に対して動画配信形式の「入学前オンデマンドセミナー」を提供しています。「学長メッセージと本学のあゆみ」「在学生対談」「卒業生からのメッセージ」の3部仕立てで、入学への意欲を高めてもらおうという取り組みです。これに加えて、2025年度の入学予定者には、入学前の講義動画配信（日本語1）、オンキャンパス講義「基礎生物学」（健康科学部・看護学部）も実施しました。こちらは入学後の前期授業に接続する学修内容となっています。さらには、初年次の学びを充実させる学部横断型のゼミナールや、高学年次の学びを彩る多彩な教養科目を構想しています。卒業された皆様にも、プレゼンター、あるいはゲストとして共通教育部の取り組みにぜひご参画いただきたいと考えております。

介護福祉別科

時代のニーズに応える介護人材を育成

Student's Voice

現場での経験を介護福祉士としての成長に繋げたい



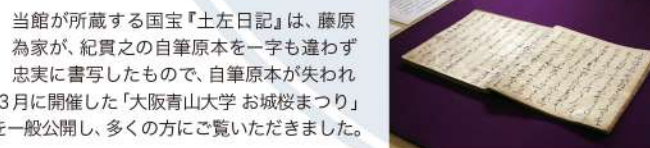
Than Htut
(サントウト)さん
ミャンマー 出身
2023年10月入学

アニメがきっかけで日本に興味を持ちました。日本で介護を学ぼうと考えたとき、大学で学べることに魅力を感じ、また面接での先生の説明がとても丁寧だったことにも安心感を覚え、本学への入学を決めました。授業は留学生にわかりやすい表現やペースで進めてくださるので、しっかり知識が身についたと感じています。先日終了した最後の学外実習では、この1年半での成長を施設の方に評価していただくこともできました。就職後も学ぶ姿勢を忘れず、信頼される介護福祉士を目指して頑張っています。

大阪青山歴史文学博物館

北摂地域の文化発展・交流の拠点として

当館が所蔵する国宝『土左日記』は、藤原為家が、紀貫之の自筆原本を一字も違わず忠実に書写したもので、自筆原本が失われた今、その面影を伝える本として大変貴重なものです。今年3月に開催した「大阪青山大学 お城桜まつり」では大学開学20周年記念特別企画としてこの『土左日記』を一般公開し、多くの方にご覧いただきました。



当館が所蔵する国宝『土左日記』は、藤原為家が、紀貫之の自筆原本を一字も違わず忠実に書写したもので、自筆原本が失われた今、その面影を伝える本として大変貴重なものです。今年3月に開催した「大阪青山大学 お城桜まつり」では大学開学20周年記念特別企画としてこの『土左日記』を一般公開し、多くの方にご覧いただきました。

めざせ！
全日本インカレ
日本一！

クラブ活動紹介

CLUB ACTIVITIES 文武両道を目指して頑張るクラブを紹介します



女子ソフトボール部

今年度創部14年目を迎える女子ソフトボール部。昨年惜しくも関西学生リーグの2部となりましたが、今年3年連続となる全日本大学女子ソフトボール選手権大会（全日本インカレ）への出場権を獲得し、1部復帰を見据えて日々練習に励んでいます。箕面市の学生消防隊MATOY（マトイ）としての活動も、地域の期待と信頼を集めています。これからも応援よろしくお願いします！

第60回全日本大学女子ソフトボール選手権大会 2025.8/28（木） - 9/1（月） 会場：愛知県安城市

Students' Voice

中学からハンドボールを続けています。チームでバスを繋いでシュートを決められた時の達成感は格別です。秋からは2部リーグで、上位の相手にも勝つことなく堂々と戦っていきなりたいです。【1年 村上さん】
過去に大きな怪我をした経験から、チームメイトと活動できるありがたさを忘れず、一回一回の練習を大切にしています。今年の目標は1部昇格！在学中にインカレに出場できたら嬉しいです。【2年 掛川さん】

めざせ！
関西学生リーグ
1部昇格！



子ども教育学科1年 村上 夏希さん
健康栄養学科2年 掛川 里緒さん

女子ハンドボール部

プロハンドボールリーグ大阪ラヴィッツで7年間活躍した川崎美穂監督のもと、2024年に公認クラブとして発足し、今年で活動2年目を迎えます。関西学生ハンドボール連盟の3部リーグからスタートし、今春、早くも2部昇格を決めました！今後はさらに1部昇格・全日本インカレ出場を目指し、ハイレベルな相手との戦いに挑みます。

ご寄付のお願い

本学園の教育・研究活動へのお力添えをお願いします

これまで本学園では、より良い教育環境の整備・維持につとめ、学生の学びの機会を失うことなく専門的職業人を育成し、広く社会に貢献するという大学の使命を遂行するために「教育振興資金」を募集し、一層の教育研究の振興を図ってまいりました。令和7年1月には大阪青山大学が開学20周年を、4月には青山幼稚園が開園60周年を迎えました。また2027年には学園創立60周年を迎えます。今後もより時代に適応した教育環境の整備や教育研究の推進、施設設備のさらなる充実を図っている所存です。つきましては、このたびの趣旨にご賛同のうえ、本学の教育研究活動への、一層のお力添えを頂戴したく、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人大阪青山学園 理事長 宇野 保範

ご寄付の使い途をお選びいただけます お寄せいただくご寄付の使途は、主に下記の4つの項目に分類されます。

- ① 大阪青山大学開学20周年及び青山幼稚園開園60周年記念事業寄附金
- ② 教育設備・環境の向上
- ③ 奨学金
- ④ 部活動補助

これまでにいただいたご寄付の使途報告

皆様から頂戴したご厚意は、学生の教材購入、施設・設備の新設等様々な形で本学の教育研究活動を支えています。昨年度は主に学修環境の向上に向けた施設の整備を行いました。

○ 箕面キャンパス本館・1号館のLED化 ○ 箕面キャンパス4号館・2号館の防水工事 ○ 高速プリンターの購入 ○ スクールバスの運行経費 ○ クラブ・サークル活動経費

ご寄付要項 ご寄付に際しましては、以下の要項に則ってお振り込み手続きをお願いいたします。

募集目的	教育環境の整備や教育研究の推進、施設設備の充実、学生の学資の支援、学生の部活動の支援
寄付金額	個人様 1口 / 1,000円 (3口以上) 法人様 1口 / 1,000円 (50口以上)
振込方法	① 郵便局 (ゆうちょ銀行) : 同封の専用振込用紙に必要事項をご記入の上お申し込みください。 ② エフレジ : 下記にてご案内の F-REGI でも引き続きお申し込みができます。



ご芳名録の記載について

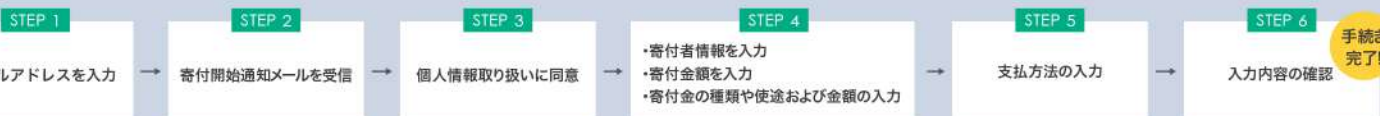
ご寄付を賜りました方のご芳名を本学ウェブサイトに掲載させていただきます。匿名をご希望の場合は、「専用振込用紙 (郵便局ご利用の方)」にご記入、または「寄付情報入力画面 (エフレジご利用の方)」にてご選択ください。

寄付方法が便利になりました!

F-REGIのご利用について

振込用紙以外にも、オンライン (クレジットカード、コンビニ、Pay-easy 決済) でご寄付をお申し込みいただけます

オンラインによるお申込は、寄付申込サイトからのお手続きとなります (株式会社エフレジのF-REGI 寄付支払いサイト)。本学ウェブサイト (<https://www.osaka-aoyama.ac.jp/about/donation/>) 上の「寄付金サイト」アドレスをクリックしていただき、下記の流れでお申し込みください。



オリジナルの返礼品をご用意しています

個人でご寄付を5口以上賜りました方には、返礼品として大学関連の品をお送りします



※写真は試作段階のイメージで、実際の製品とは異なる場合があります

オフィシャルパートナー ガンバ大阪とのコラボ企画商品です。チームカラーの青と黒、1箱で2種の味が楽しめます! (レトルトパックでお届けします) 食べて応援! **ガンバレ! 青黒Wカレー** (仮称)

なめらかな手触りと優れた吸水性 **オリジナル口ゴ入りタオル** ブルーを基調とした、シンプルなデザインのマフラータオルです。

寄付金額	返礼品
5,000円以上 1万円未満	QUOカード (500円)
1万円以上 3万円未満	カレー2パック
3万円以上 5万円未満	カレー2パック タオル1枚
5万円以上	カレー5パック タオル2枚

OSAKA AOYAMA UNIVERSITY 大阪青山大学

Career Support

一人ひとりに向き合う支援で就職に強い大学へ

担任教員と進路支援センタースタッフが連携する丁寧なWバックアップで高い就職率をキープしています。

2025年3月卒業生
就職実績

就職率

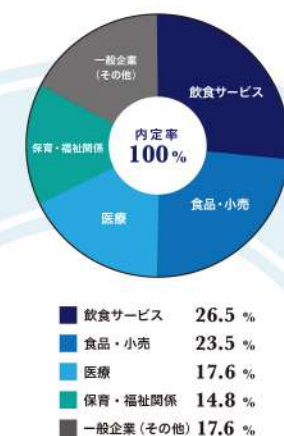
100%

大阪府下
実就職率ランキング

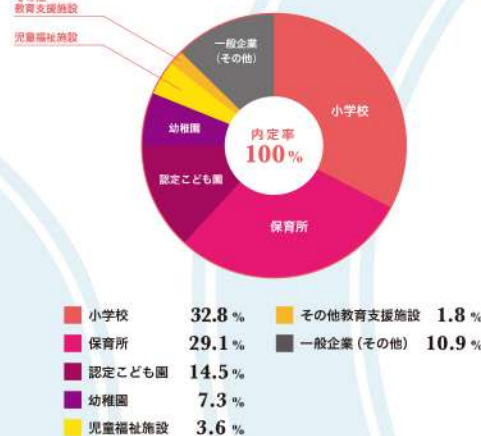
2位

2024年3月卒業生実績
(特)大学通信調べ
※2024年7月発表

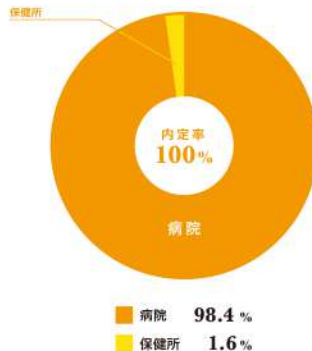
健康科学部 健康栄養学科



健康科学部 子ども教育学科



健康科学部 看護学科



Support Programme

進路支援センターでは、就職活動が本格化する3年次生を中心に、多数の支援プログラムを展開しています。その一つである『就活塾』では、特別講師の指導のもと、様々なテーマに沿った考察・討論・発表などにグループ単位で取り組み、実践力を磨いています。“就活を楽しむ”をコンセプトに、学生同士協働して答えを導き出す経験を積み、就職活動に対する苦手意識を払拭していきます。

「就活マスタークラス」の取り組み



『就活塾』では、“楽しみながら取り組む就活”をコンセプトに、特別講師を招いて各種プログラムを実施。講座終了後は進路支援センターの個別対応に切り替えて学生の就職活動を継続的にサポートします。

他大学合同グループディスカッション

関西圏の他大学の学生と一緒に、グループディスカッションを体験します。企業の人事担当者から直接フィードバックをもらって自身のスキルアップに繋げられる貴重な機会です。

企業公開グループディスカッション

企業・法人の採用担当者が参加するなか、公開グループディスカッションを行います。貴重なフィードバックが得られるほか、企業の選考予約特典を指名オファーしてもらうなど学生にとってプラスとなる試みをしています。

個別に丁寧な就職支援



就職活動に役立つ情報提供や実践的なトレーニングを行い、学生一人ひとりの取り組み意欲を高めます。

エントリーシート・履歴書添削

学生が作成したエントリーシートや履歴書をキャリアコンサルタントがプロの視点でアドバイス。一人ひとり丁寧にヒアリングを行い、対応しています。

面接対策

採用試験で実施される集団・個人面接の対策を繰り返し実施。本番さながらの面接シミュレーションを多くの学生が実践で役立てています。

認証評価の受審について



すべての大学が7年以内に一度、教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営及び施設設備等の総合的な状況に関し認証評価機関による評価を受けることが義務付けられています。

本学は令和6年度に受審し、その結果「大学評価基準に適合している」と認定されました。今後も、建学の精神に基づく教育、研究、社会貢献活動等の更なる充実に努めてまいります。

2024年度財務報告

資金収支計算書

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金収入	1,379,960	人件費支出	1,196,137
手数料収入	7,426	教育研究経費支出	617,638
寄付金収入	9,396	管理経費支出	169,011
補助金収入	318,230	借入金等利息支出	436
資産売却収入	160,700	借入金等返済支出	10,080
付随事業・収益事業収入	53,990	施設関係支出	35,912
雑収入 他	59,130	設備関係支出	32,427
借入金等収入	0	資産運用支出	0
前受金収入	170,865	その他の支出	108,857
その他の収入	298,272	資金支出調整勘定	△87,590
資金収入調整勘定	△240,218	翌年度繰越支払資金	893,545
前年度繰越支払資金	758,702		
収入の部合計	2,976,453	支出の部合計	2,976,453

(単位: 千円)

事業収支計算書

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金	1,379,960	人件費	1,237,026
手数料	7,426	教育研究経費	823,009
寄付金	9,396	(うち減価償却額)	204,696
経常費等補助金	313,063	管理経費	172,465
付随事業収入	53,990	(うち減価償却額)	3,573
雑収入	78,259	教育活動支出計	2,232,500
教育活動収入計	1,842,094	教育活動外支出	436
教育活動外収入	1,160	特別支出	196
特別収入	130,735	事業活動支出	2,233,132
		基本金組入前当年度収支差額	△259,144
		当年度収支差額	△259,144
		前年度繰越収支差額	△6,612,999
		基本金取崩額	57,094
事業活動収入	1,973,988	翌年度繰越収支差額	△6,815,049

(単位: 千円)

貸借対照表

資産の部		負債の部	
固定資産	15,226,745	固定負債	233,556
有形固定資産	14,692,785	流動負債	272,135
その他の固定資産	533,960	負債合計	505,691
流動資産	949,391	純資産の部	
		基本金	22,485,493
		繰越収支差額	△6,815,048
		純資産の部合計	15,670,445
資産の部合計	16,176,136	負債及び純資産の部合計	16,176,136

(単位: 千円)

大阪青山大学

大学開学 20 周年 記念ロゴマークを作成しました

20 という数字がシンプルにわかりやすく目に入る形をベースとし、更なる高みを目指して飛躍する意気込みを、浮き上がった〇(ゼロ)に込めました。細くシャープな字体には、20 年という年月に相応しい若々しく伸びやかなイメージを重ねています。皆さまとともに歩み、ともに未来へと羽ばたく大阪青山大学の現在(いま)を表現するロゴマークとして、周年行事、各種媒体において広く活用していきます。



文字のみで構成した青色のパターンを正規版と位置付け、さらに、用途に合わせた 2 パターンを作成しました。

受験生や在学生など若い世代に向けた媒体等での使用を想定し、親しみやすさを訴求したスマイルバージョンを用意しました。



「熱意」や「エネルギー」「明るさ」「楽しさ」といったイメージに結びつく色である赤、黄を中心に配色したカラーバージョンは、大学の若さや明るさを表現しています。



SNS で大阪青山の「今」を発信中！ 行事やイベント、キャンパスの日常風景をお届けしています。



X
@OsakaAoyamaUniv



Facebook
facebook.com/osakaAoyama.jp



Instagram
@osaka_aoyama_university



TikTok 幼児教育の魅力伝える
子ども教育学科 オフィシャルアカウント
osaka_aoyama.kodomo

学園広報誌「OASIS」2026 年度以降の発送について

学園広報誌「OASIS」は、本学の同窓生、および在学生のご家庭の皆様へ本学の現状と展望をお伝えする冊子として年に一度発刊し、送付してまいりましたが、本学で推進する SDGs の観点から、紙の消費量を削減することを目的に、本年度をもって冊子での一律発送を終了することとなりました。次年度以降は、本学のオフィシャルサイトに掲載するデジタル版をご覧ください。皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

ただし以下の条件に該当する方につきましては、次年度以降も継続的に送付いたします。

- ① 本学の在学生、および卒業後 5 年以内の同窓生の方
- ② 本学にご寄付をくださった方
- ③ 同封のハガキに必要事項を記載して、本学に返信をくださった方